

令和4年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

NO	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額 (円)	交付額 (円)	コメント
1	社会の中で共に生きる会あゆみ	保健、医療又は福祉の増進	うつ病、不安障がい、発達障がいなどを抱え社会の中で「生きづらさ」を感じている当事者の会です。家から一歩、外へ歩み出て人と交流し、ほっとできる居場所です。 月に1回、参加者が集まって交流します。当事者が主体となって、お互いの近況や情報交換をしながら、お互いの悩みを共有して支えあいます。	自立支援	9,450	9,450	うつ病、不安障がい、発達障がいなどを抱えて社会の中で「生きづらさ」を感じる当事者が、支援者を交えながら相互に交流する居場所を、当事者が「主体」になって提供しており、取組の意義とこれまでの実績を評価します。当事者や支援者の人数のバランスを考慮しながら、活動規模のさらなる広がりと展開を期待しています。持続可能な事業として、取組の広報や支援者の確保、活動資金計画の検討などを進めてください。
2	まざ〜ず来楽部 みるき〜うえい。	「みんな奇跡の命」林ともさん講演会	「みんな奇跡の命」あ〜ちゃんの虹と題して林ともさんに講演していただきます。 愛娘の明音ちゃんは6歳でお空にお引越しました。一生懸命生きたあ〜ちゃんの奇跡的な毎日には、「この世にダメな命はなく、みんな奇跡のように尊い命なんだよ」と教えてくれました。 あかね色の夕日の夜に生まれ、虹を架けて旅立ったあ〜ちゃんと共に命のメッセージを伝えてくれる講演会です。	スタート支援	30,000	30,000	子どもの健康を守り、母親の不安解消のお手伝いをするを目的として団体を設立され、看護師経験を生かした、まざ〜ず来楽部みるき〜うえいでしかできないこと、4つの特徴を生かした継続的な活動を期待いたします。活動期間も短く認知度も低いですが、代表の看護師経験を生かし、活動を継続されることで認知度も上がってくるものと思われます。今後、事業の展開を行う場合、専門性の確保が課題になると感じました。
3	特定非営利活動法人ハーティ	放課後子どもクラブ 千里山	放課後子どもクラブは対象が就学前から小中児童生徒の学習の土台となる能力開発を行う場である。おやつを食べたり休憩するリラクスルームと宿題もできるスタディールームは興味ある教材やシートによって能力を養成していく場である。子どもには放課後の時間をこの空間で過ごし、働く保護者様にも安心して利用して頂けるスペースです。「できる」ことを伸ばし、できない事を強いることなく好奇心を育てることを目的とします。	自立支援	448,800	225,600	長年、保護者からの相談を受けていた実績から、子どもの支援に発展させる事業に取り組まれることについて社会的ニーズを感じ、評価します。専門家によるプログラムも開発済みで支援態勢もあるとのことですが、現状では事業予測の未確定部分が大きいと感じました。併設講座については、今後の利用実績等を見極めていただきたいと考え、回数をも2分の1とし、報償費について減額での交付と判断しました。
4	食品品質プロフェSSIONナルズ	学校給食の安全推進のための新様式研修開発	いままで食品安全研修の受講が困難であった学校給食事業者の方々に自分の都合のいい時間帯に受講が可能なZoom研修を提供する。	自立支援	500,000	0	食の安全に関する研修を実施することは重要であり、研修を実施する意義は理解しますが、吹田市内のニーズが未確定であり、また、事業内容が、行政、事業者向けの内容のように思います。市民の方々が安全な給食を受けられるようにするという目標をもった有意義な活動ではありますが、東京まで出張し撮影する必要性は感じられません。よって、東京への出張費、高額な備品の購入費については補助対象としません。また、人件費については、高額であり下方修正する必要があると判断しました。その結果、事業収入が50万円ある中で、補助対象経費がなくなり、本事業は補助対象とはなりませんでした。